

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日更新

事務事業名		栄典(叙位、叙勲)事務事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	政策部	課長名	坂本 政誠	
	施策	25	行政改革の推進			所属課	政策課	担当者名	狩野 紀彦	
	基本事業	83	効果的な組織運営			所属班	秘書班	(内線)	1232	
予算科目		会計一般	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	⑧	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		コスト削減優先度評価結果			⑥

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 公選による市町長、市町議会議員など、推薦要件を満たしている対象者について、地方自治功労関係(春秋叙勲・高齢者叙勲・死亡叙勲、叙位、褒賞)の上申を行う。 市の発展に卓絶した功績があり、郷土の誇りとして尊敬に値する者に対し、名誉市民、市民栄誉賞を授与する。
【業務の流れ】	<ul style="list-style-type: none"> 春秋叙勲潜在候補者の作成報告(春4月29日現在、秋11月3日現在) ①春秋(高齢者)叙勲：候補者の推薦(履歴照会等)、候補者決定後の上申(功績調書、履歴書、刑罰調書、事業概要調書等の作成)、決定後の伝達 ②死亡叙勲、叙位：死亡後継への連絡、1週間以内に上申(功績調書、履歴書、刑罰調書、事業概要調書等の作成)、決定後遺族へ連絡叙勲(叙位)の伝達 ③褒賞：公益のため私財を寄附し功績顕著な団体・個人に対し、寄附受領後速やかに上申 ・名誉市民：市長が市議会の同意を得て選定 ・市民栄誉賞：選考委員会において選考し、市長が決定
【主な予算費目】	予算なし
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	特になし

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動)26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
・叙勲の潜在候補者を報告するとともに、高齢者叙勲、死亡叙勲の上申を行った。 平成25年度実績4名 平成26年度実績3名	・叙勲の潜在候補者を報告するとともに、地方自治功労への該当者の関係書類を作成し上申を行う。	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ア:叙勲の申請件数	件	増減なし
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
市町長、市町議会議員であった者で叙勲候補に該当する者	→ア:叙勲潜在候補者数	人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
永年にわたる自治功労に対するの叙位、叙勲の授与を受ける。	→ア:申請に対する受賞者の割合	%
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～年度
「地方自治の育成発展に貢献し、功績顕著な者であって推薦基準を満たし、叙勲されるにふさわしいと認められる者」であるため、特別な事情がなければ、受賞となる。		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	28年度予定	29年度見込	30年度見込
①活動指標	ア	件	3	4	1	3	1	1	1	1
②対象指標	ア	人	38	35	40	41	40	40	40	40
③成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	100
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円							
	(A)事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	2	1	1	1	0
延べ業務時間	時間	50	50	200	42	200	200	200	0	
(B)人件費計	千円	203	199	796	167	796	796	796	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	203	199	796	167	796	796	796	0	

事務事業名	栄典（叙位、叙勲）事務事業	所属部	政策部	所属課	政策課
-------	---------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（SEE）

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ・叙勲の選考は、総務省でおこなわれるため向上の余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・他に類似のものがないため。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・国への上申手続きのみであり、事業費が発生しない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・定期的な潜在候補の報告や死亡の際の1週間での上申など限られているため。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ・叙勲申請対象が国基準によるものであるため。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

<p>(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/>現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要）</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						